

東日本大震災を経験されたあなたの “貴重な声”を聴かせてください

～自然災害時のすべての性暴力被害をなくすために、アンケート調査にご協力ください～



「東日本大震災時に関連した性暴力被害の実態と今後の課題」 アンケート調査ご協力のお願い

私たちは岩手県立大学看護学部の防災復興支援研究のメンバーです。

性暴力被害とは「当事者が嫌なこと、不快なことと感じたり、自分が望んでいない性的な出来事や経験のことすべて」です。自然災害の急性期や復興期には性暴力被害が起こりやすいことが分かっています。15年前の東日本大震災では、その認識はまだ低く、注意喚起や予防対策は不十分でした。

日本ではこれからも自然災害が起こります。自然災害時の性暴力被害を二度と起こさないためには、東日本大震災から15年を迎える今だからこそ、震災を経験された皆様から、性暴力被害の実態やどうすれば性暴力被害が予防できるのかについての“貴重な声”を把握させていただき、今後の防災対策や具体的な支援策につなげていく必要があります。

このアンケート調査は岩手県立大学防災復興支援研究費を受け、岩手県環境生活部若者女性協働推進室と岩手県復興防災部消防安全課と協働して行うものです。

アンケートは、性暴力被害の有無に関係なく東日本大震災時に小学生以上だったすべての方を対象としています。裏面をお読みいただき、アンケートに協力してもよいと思われる方は、QRコードからご回答ください。また、インターネットで回答できない方には、郵送やFAXで質問紙と返信用封筒をお送りいたしますので、裏面の下に記載している問い合わせ先にご連絡をください。

<アンケート調査にご協力いただきたい方>

性暴力被害の有無に関係なく東日本大震災時に小学生以上だったすべての方です。

<アンケートの回答方法>

- 右下のQRコードか下記のURLからアンケートフォームにアクセスしていただきご回答いただきます。
<https://forms.office.com/r/TATPRyCi7T>
アンケートにお名前を書く必要はありません。回答時間は、おおよそ10～15分程度です。
- 調査期間は令和7年11月～令和8年2月です。回答後、「送信」ボタンを押した後は回答を撤回することができませんのでご了承ください。
- ご回答いただいた結果は、個人を特定できないようにデータ化し、集計、統計的処理を致します。

本研究に協力いただいている個別相談窓口は以下です。アンケートの最後にも提示しております。

- よりそいホットライン 0120-279-226「ガイダンス8」（フリーダイヤル・無料）
*アナウンスは「若年女性や子どもの相談は8」と流れますがこのダイヤルは震災時性暴力被害者の相談・支援を行った経験のある相談員につながります。 <https://www.since2011.net/yorisoi/>
- はまなすサポートライン #8891（24時間対応・無料）
*土・日・祝および17時～翌9時は、夜間休日コールセンターにつながります。
- 岩手県福祉総合相談センター女性相談窓口 019-629-9610

アンケートフォーム

QRコード↓↓↓



<東日本大震災に関連した性暴力被害とは？>

- このアンケートでお尋ねする「東日本大震災に関連した性暴力被害」とは、東日本大震災震災の影響による避難生活や復興に向けた生活の中で起こった性暴力被害や、救援・支援活動や復興活動にたずさわるなかで発生した性暴力被害を指します。性暴力被害にあわれた方が「性的に嫌なことだったと感じるものすべて、あるいは、望まない性的な言動だったと感じるものすべて」をさします。
- 災害支援活動や仕事などで被災地を訪れた人の被害や加害も含まれます。東日本大震災の前からあった暴力が、震災によって悪化した場合も含めます。
- 時期は、東日本大震災の直後から、生活再建の目途がおおよそ見えてくるころとして震災後 10 年後ぐらいまでを指します。
- このアンケートでお尋ねする性暴力被害の種類は具体的には以下のような内容です。

性暴力の種類	具体的な内容
言葉や視覚による性暴力被害	性的な意味を持つ言葉（いやらしい言葉）を言われたり、からかわれたり、性的な行為の声を聴かされる、のぞかれる、からだをじっと見られる、相手の裸や生殖器をわざと見せられるなど。
身体接触を伴う性暴力被害	からだを触られたり抱きつかれる、服や下着を脱がされたり脱がされそうになる、相手のからだや性器を押し付けられる、など。
性交を伴う性暴力	同意のない性交、脅されるなどして強制された性交など。
情報ツールを用いた性暴力被害	見たくないのにインターネットなどでいやらしい画像などを見せられたり、下着姿や裸を撮影されたりする、など。
その他の性暴力被害	下着を盗まれる、追いかけられる、など、上記以外に、 <u>性的に嫌なことだったと感じるもの、あるいは、望まない性的な言動だったと感じるもの。</u>

参考：男女共同参画局：令和 3 年度若年層に対する性暴力予防啓発相談事業「若年層の性暴力被害の実態に関するオンラインアンケート及びヒアリング結果報告書」

<ご回答いただく際の留意点>

- 性暴力被害について尋ねるため、負担に感じる場合もあるかもしれません。過去の経験がよみがえり、回答が辛いと感じた場合には、回答をいったんやめ、深呼吸をするなどしながら休んでください。あるいはアンケートの回答自体を途中で中止しても構いません。
- このアンケートは強制ではありません。途中で中止しても、あなた自身に不利益が生じることはありませんので、無理をせず、あなたのこころとからだを一番大切にしてください。
- 本調査で得られたデータは目的以外に用いることはありません。すべて統計的に処理致しますので、個人が特定されることは一切ございません。匿名化し、個人が一切特定されない形にした研究データは鍵付きの金庫等で 10 年間厳重に保管後に全て廃棄いたします。
- このアンケート結果は、報告書や論文としてまとめるとともに、学会等や新聞報道にて報告する予定です。その場合は固有名詞等、個人が特定できない表記にいたします。一度論文等にて発表した後は、記載内容の修正はいたしかねることをご了承ください。
- 研究内容に関するご質問は、以下の連絡先までご連絡ください。

連絡先 （右の QR コードを読み込むと研究代表者に連絡が取れます）

研究代表者： 福島裕子（岩手県立大学看護学部 母性看護学・助産学 教授）

住所：〒020-0693 岩手県滝沢市菓子 152-52

Tel：019-694-2280／Email：yhukusim@iwate-pu.ac.jp

